ONKYO®

スピーカーシステム

# D-L500F

# 取扱説明書



お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

# オーディオ機器の正しい使いかた

**オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。**

**絵表示について**
この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

**絵表示の例**

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

## ⚠警告

### ■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

### ■ 改造しない

分解禁止

●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

### ■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

### ■ 水の入った容器を置かない

●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

### ■ 中に物を入れない

●本機の内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

# ⚠警告

## ■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

# ⚠注意

## ■ 設置上の注意

●ぐらついた台の上や傾いた所、厚手のじゅうたんの上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
●特に本機はキャビネットの背が高いため設置の際には転倒しないようにご配慮ください。市販の転倒防止チェーンをお使いいただくと地震等の際、万一の転倒を防ぐことができます。
●移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
●移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因になることがあります。

## ■ スピーカーコードは安全な場所へ

●スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを利用した場合や高い所に置いた場合、壁に掛けた場合など、特にご注意ください。

## ■ 次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

## ■ 接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

## ■ 使用上の注意

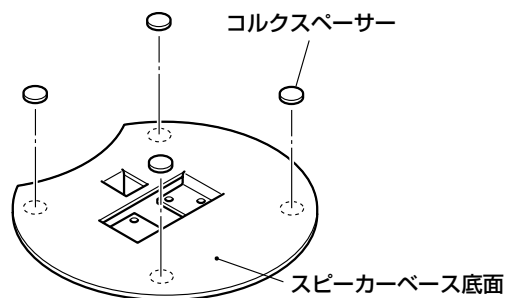
●電源を入れる前にはアンプの音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

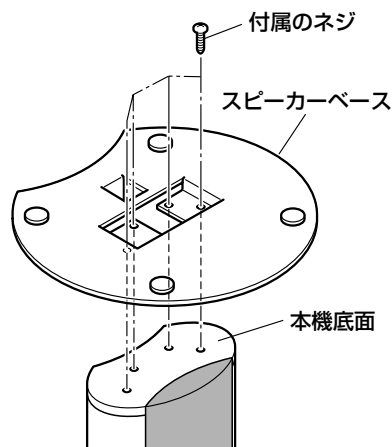
●音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

# スピーカーベースの取り付けかた

## ■ 付属のコルクスペーサーを使う

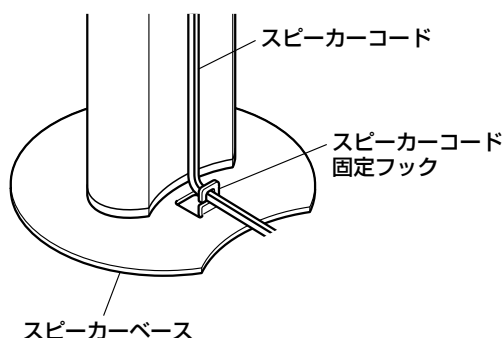
よりよい音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。
また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。

スピーカーコードを接続する前に、付属のスピーカーベースを本機底面に取り付けてください。

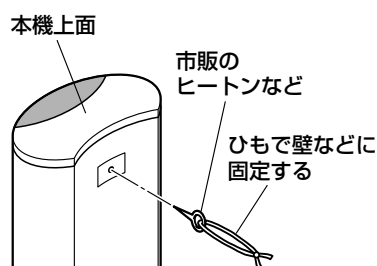
**1. 本機の底面を上に向ける**

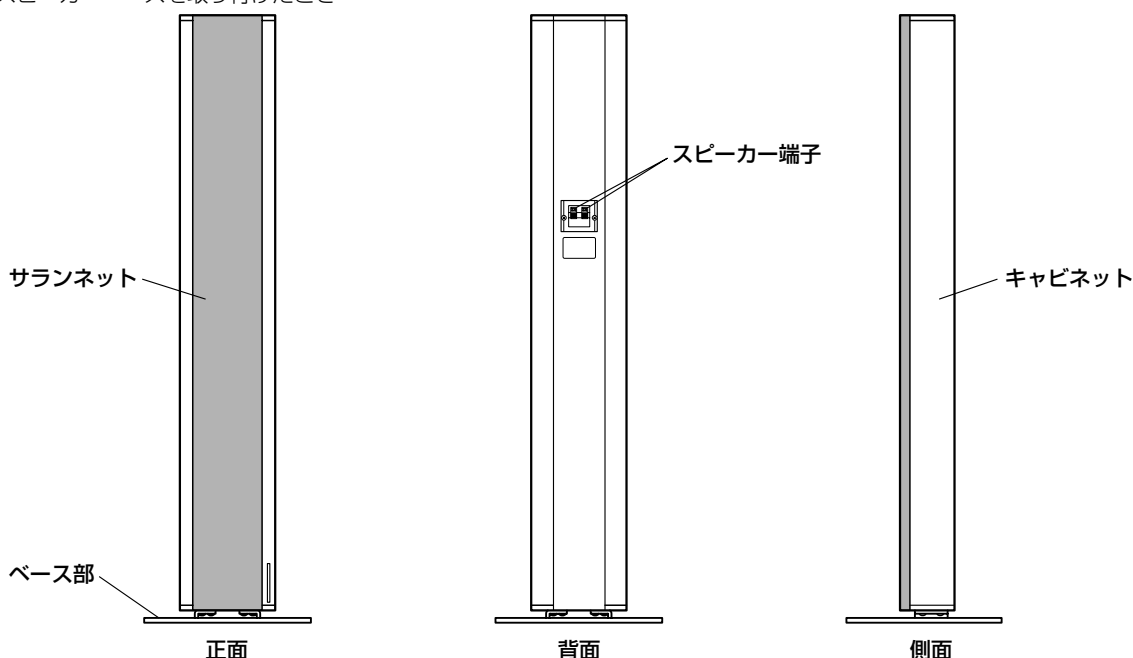
**2. 本機底面のネジ穴とスピーカーベースの穴を合わせ、付属のネジで4箇所固定する**

| ⚠注意 | **組み立て作業は必ず2人以上で行うこと**<br>● 組み立て作業の際、スピーカーの転倒などによるけがや破損に十分に注意してください。<br>● 組み立てネジは、十分締めつけてください。また、定期的にネジのゆるみがないか確認してください。 |
|---|---|

ご注意
スピーカーベースを取り付けるとき、スピーカーを倒したり、スピーカーベースを落としたりしないように注意してください。

# スピーカーコードフックの使いかた

スピーカーベースにはスピーカーコードを通すためのフックが付いています。
このフックにスピーカーコードを通すと、安全で美しく配線ができます。

## ■ 転倒防止について

本機背面上部のシールをはがすと小さな穴があります。この穴に、市販のヒートンなどを取り付けて、じょうぶなひもで壁などに固定することにより、より安全な設置をすることができます。

# 各部の名前

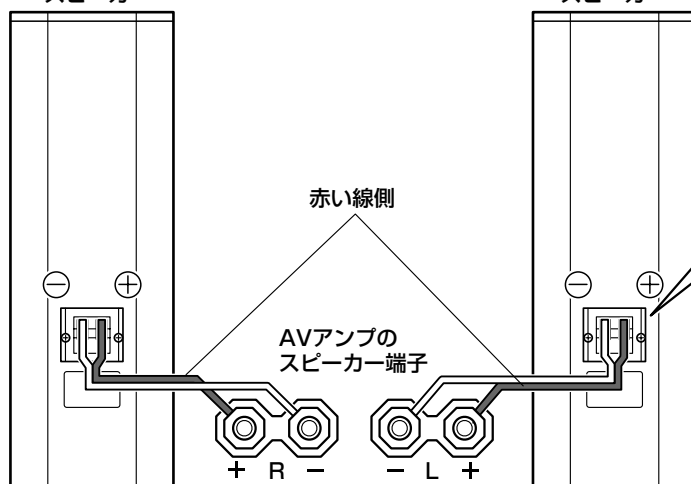
スピーカーベースを取り付けたとき

# 接続のしかた

### ■ スピーカーを接続する前に

付属のスピーカーコードの準備をします。

1. スピーカーコードのビニールカバーの先をはずします。

2. しん線をよじります。

例）

**スピーカー端子への接続方法**

① スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
しん線がわずかに外に出ているようにしてください。

② スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

- スピーカーのプラス⊕とアンプのプラス⊕を、スピーカーのマイナス⊖とアンプのマイナス⊖を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線がある方をプラス⊕側に接続してください。
- プラス⊕とマイナス⊖、L(左)とR(右)を間違って接続すると、音声が不自然になりますのでご注意ください。
- アンプの故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナス、L(左)とR(右)を絶対に接触させないでください。

# 取り扱いについて

## ■ お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

## ■ カラーテレビやパソコンとの近接使用について

一般にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

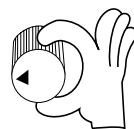
ご注意

テレビなどの近くに置く場合、テレビから出ている電磁波の影響でオーディオ機器の電源を切っていてもスピーカーから雑音を発生することがあります。この雑音が気になる場合は、テレビからさらにスピーカーを離してご使用ください。

## ■ 取り扱い上のご注意

本機は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

### ♪ 音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

# 主な仕様

| | |
|---|---|
| **形式：** | 2ウェイ バスレフ型 |
| **定格インピーダンス：** | 6Ω |
| **最大入力：** | 150W |
| **定格感度レベル：** | 82dB/W/m |
| **定格周波数範囲：** | 45Hz～100kHz |
| **クロスオーバー周波数：** | 8kHz |
| **キャビネット内容積：** | 7.4ℓ |
| **使用スピーカー：** | 8cm A-OMFダイヤフラムウーファー×2<br>2cmネオバランスドームツィーター |
| **ターミナル：** | プッシュ式 |
| **外形寸法：** | 161(W)×1000(H)×93(D)mm（サランネット、ターミナル突起部含む）<br>280(W)×1013(H)×261(D)mm（スピーカーベース含む） |
| **質量：** | 4.3kg |
| **付属品：** | スピーカーコード　3.5m（2本）<br>コルクスペーサー（8個）<br>スピーカーベース（2個）<br>ネジ（8個） |
| **その他：** | 防磁設計 |

※ 仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

**カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。**
**色は異なっても操作方法は同じです。**

# 修理について

## ■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## ■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

▶ お名前
▶ お電話番号
▶ ご住所
▶ 製品名　D-L500F
▶ できるだけ詳しい故障状況

## ■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

## ■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

## ■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

## ■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル ☎ 0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または ☎ 072(831)8111（携帯電話、PHSから）

G0509-1

SN 29344133